

平成29年度

北竜町一般会計・特別会計
決算審査報告書

監査委員 板垣 義一

監査委員 小坂 一行

目 次

審査の概要

1. 審査対象決算	1
2. 審査の期間	1
3. 審査の対象	1
4. 審査の要領	1

審査意見

1. 総括意見	2, 3
2. 各会計の審査概要	4
各会計決算総括表	4
(1) 一般会計	5
歳入	5
歳出	6, 7
第1表 財源の状況	8
第2表 支出の状況	9
第3表 基金の状況	10
第4表 一部事務組合負担金調	11
(2) 国民健康保険特別会計	12, 13
(3) 町立診療所事業特別会計	14
(4) 後期高齢者医療特別会計	15
(5) 介護保険特別会計	16, 17
(6) 特別養護老人ホーム事業特別会計	18
(7) 農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計	19, 20
3. 基金運用状況審査結果	21
(1) 土地開発基金会計審査意見書	21
土地開発基金運用調書	22
(2) 奨学資金貸付基金会計審査意見書	23
奨学資金貸付調書	24

審 査 の 概 要

1. 審査対象決算

- (1) 平成29年度北竜町一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成29年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成29年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成29年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成29年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成29年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 平成29年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算

2. 審査の期間

平成30年8月21日、22日、23日、24日（4日間）

3. 審査の対象

- (1) 各会計決算
- (2) 同上関係諸帳簿
- (3) 証書類及び付属書類
- (4) 財産に関する調書並びに基金運用調書

4. 審査の要領

- (1) 会計記録の正当性及び計数の確認
- (2) 予算執行の適否
- (3) 財産運用の妥当性

以上の点に主眼を置き、関係諸帳簿の精査及び証書類との照合、さらに必要に応じ担当課から資料の提出及び説明を求め、既往の監査の結果を参考にしながらか審査の適正を期した。

審 査 意 見

平成 29 年度北竜町一般会計及び特別会計決算審査意見

1. 総括意見

①一般会計及び 6 特別会計について

平成 29 年度の一般会計及び 6 特別会計を合わせた決算状況は、歳入 5,638,154 千円で前年度に比べ 673,660 千円 (11.9%) 増収し、歳出は 5,581,797 千円で前年度と比べ 685,105 千円 (12.3%) 増加している。

一般会計の歳入総額は 4,273,506 千円で対前年度比 680,498 千円 (15.9%) の増収、町税の不納欠損額は 165 千円、収入未済額は 6,598 千円でこれらを合わせた対前年度比は 376 千円 (5.3%) 減少している。また、自主財源で対前年度比 526,530 千円の増収、依存財源では 153,969 千円の増収となり歳入全体で対前年度比 680,499 千円の増収となっている。なお、予算に対する収入歩合は 100.06%、調定に対する収入歩合は 99.84%であった。

歳出では総額 4,223,080 千円となり性質別に分類した場合、義務的経費が 1,024,722 千円で対前年度比 647 千円の増額となって歳出総額の 24.3% を占めている。内、人件費は 434,137 千円で対前年度比 20,332 千円 (Δ 4.7%) の減、公債費は 444,449 千円で対前年度比 16,859 千円 (3.8%) の増であった。歳出全体では前年度比 688,787 千円の増となり、歳入歳出差引き残高の単年度収支は 50,425 千円の黒字となっている。

特別会計の収支は国民健康保険特別会計を始め全 6 特別会計共に一般会計からの法定繰り入れ、任意繰り入れをもって収支の均衡を計っている。

財政指標の内自主財源の割合を示す財政力指数 (3 カ年平均) は前年度と同じ 0.119 であった。また、経常収支比率は 89.5% と前年度比 2.6% 上昇した。

②今後の見通しについて

一般会計及び6特別会計を合わせた決算収支状況は、前年度に引き続き単年度収支黒字決算となっている。この状況は長期にわたり続いているものの依然として歳入の根幹を成している地方交付税に影響されるところが大きい。少子高齢化、人口減少化などにより納税義務者の減少が見込まれることから、今後税収の増加を期待することは難しい。

一方、今後は高齢化の進展による社会保障費や施設の維持保全経費など、多大な財政負担が見込まれることから、収支の均衡をより意識した厳しい財政運営が求められている。また、併せて次世代の負担軽減のため地方債残高の抑制に更に取り組む必要が感じられる。

今後、限られた財源の中で新たな町民のニーズや社会的要請などを踏まえ、事業の選択と限られた財源の効率的で重点的な集中により、より最小の経費で最大の効果が得られるよう、効果的な行政運営を一層推し進める事が求められるものと思われる。このため更なる財政の健全性を維持していくことが必要と考え、次の諸点に特に留意され取り組む事を望むところであります

イ) 引き続き財政状況の硬直化が進捗していることを踏まえ、経常経費の一層の節減に努めること。

ロ) 税、使用料、負担金などの未収金については町民負担の公平性の観点から、早期解消に向け計画的で効果的に回収を計ると共に新たな滞納の発生について抑制に努めること。

ハ) 大型事業の実施により、財政に及ぼす影響が大きくなっている。

今後、投資的事業の実施に当たっては財政負担を考慮した上で計画的に進められたい。

2. 各会計の審査概要

決算審査にあたり、町長より各会計にわたる決算説明書の提示があったので重複をさけ、各会計別の概要を報告する。

平成29年度各会計決算総括表は、下記のとおりである。

平成29年度各会計決算総括表

(単位：円、%)

会計名	歳入					歳出			差引残額 (C-E)	
	予算現額	調定額	収入済額	収入歩合		予算現額	支出済額	執行率		
	A	B	C	C/A	C/B	D	E	E/D		
一般会計	4,270,780,000	4,280,269,709	4,273,506,004	100.06%	99.84%	4,270,780,000	4,223,080,561	98.88%	50,425,443	
特別会計	国民健康保険	408,992,000	418,907,980	409,293,709	100.07%	97.70%	408,992,000	405,199,938	99.07%	4,093,771
	町立診療所	99,881,000	97,312,591	97,312,591	97.43%	100.00%	99,881,000	96,790,358	96.91%	522,233
	後期高齢者医療	33,350,000	33,173,722	33,071,522	99.16%	99.69%	33,350,000	33,013,122	98.99%	58,400
	介護保険	299,307,000	287,251,819	287,033,309	95.90%	99.92%	299,307,000	286,840,068	95.83%	193,241
	特別養護老人ホーム	426,500,000	423,135,603	423,087,451	99.20%	99.99%	426,500,000	422,282,855	99.01%	804,596
	農業集落排水及び個別排水	117,278,000	114,951,641	114,850,201	97.93%	99.91%	117,278,000	114,590,633	97.71%	259,568
	小計	1,385,308,000	1,374,733,356	1,364,648,783	98.51%	99.27%	1,385,308,000	1,358,716,974	98.08%	5,931,809
合計	5,656,088,000	5,655,003,065	5,638,154,787	99.68%	99.70%	5,656,088,000	5,581,797,535	98.69%	56,357,252	
参考	前年度実績	5,037,871,000	4,982,562,102	4,964,494,224	98.54%	99.64%	5,037,871,000	4,896,692,482	97.20%	67,801,742
	対前年増減	618,217,000	672,440,963	673,660,563			618,217,000	685,105,053		-11,444,490
	対前年比	10.9%	11.9%	11.9%			10.9%	12.3%		-20.3%

(1) 一般会計

○歳入

- イ. 予算現額 4,270,780,000 円に対し、収入済額は 4,273,506,004 円で、収入歩合は 100.06%、対予算では 2,726,004 円の増である。
また、調定額 4,280,269,709 円に対する収入歩合は 99.84%で、6,763,705 円が未収入となっており、そのうち 165,300 円が不納欠損処分された。
- ロ. 歳入の主なものは、地方交付税が 1,568,188,000 円で歳入全体の 36.7%を占めている。以下、町債 750,379 千円 (17.6%)、寄付金 426,098 千円 (10.0%)、道支出金 279,225 千円 (6.5%) の順となっている。
なお、寄付金においては、ふるさと応援寄付金が 380,012,922 円と前年度比 123.1%となっている。
- ハ. 歳入のうち、自主財源は 1,404,019,048 円 (構成比 32.9%) で町税を除く主なものは寄付金が 426,098,069 円、諸収入が 70,557,093 円となっている。また、町税は 180,825,250 円で前年度比 7.3%の増となっており、自主財源総額では 526,529,301 円 (前年比 505.2%) の増となっている。
(第 1 表 財源の状況参照)
- ニ. 町税の徴収率は、全体的に 98.51%と前年度にも増して高い水準を維持している。不納欠損処分額は 165,300 円で前年比 162,200 円増加している。また、収入未済額は 2,564,375 円で前年度と比較して 507,138 円減少し、職員の努力が感じられる。今後においてもこれらの取扱いについて、厳正に対処され、更なる徴収努力により徴収率の向上を期待するものであります。

○歳 出

- イ. 予算現額 4,270,780,000 円に対し、支出済額は 4,223,080,561 円で執行率は 98.88%である。差引歳出不用額は 47,699,439 円である。
- ロ. 不用額の主なものは、予備費 14,639,000 円（構成比 30.7%）、公課費 10,280,464 円（同 21.6%）、需用費 4,636,450 円（同 9.7%）、委託料 4,166,658 円（同 8.7%）、負担金補助及び交付金 2,790,654 円（同 5.9%）等となっている。
- ハ. 歳出の性質別決算状況では、消費的経費が 1,876,059 千円で全体の 44.4%を占め、投資的経費は 1,271,953 千円で 30.1%となっている。（第 2 表 支出の状況参照）
- ニ. 一般会計における平成 29 年度末の町債の残高は、4,218,578,800 円で前年度比 108.5%の増、金額では 329,278,129 円の増となっている。

○総 括

- イ. 歳入歳出差引額は 50,425,443 円で、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 町税、使用料等の徴収率は概ね良好である。特に住宅使用料は前年度に引き続き 100%となっており職員の徴収努力が感じられる。なお、農業費分担金については 4,034,030 円が収入未済となっており、前年度に比べ若干減少しているものの滞納者に対して引き続き納付計画に基づく納入に最善を期されたい。
歳入全般については、地方交付税など国からの財源に依存するところが大きく、自主財源の総額は 1,345,305,452 円と前年度に比べ繰入金並びに寄付金の増加に伴い対前年比 467,815,705 円の増となった。
町税全体の収入未済額は職員の徴収事務努力により年々減少傾向に有る。引き続き未済額の徴収に向け努力され健全な財政運営につなげられたい。

- ハ. 財政状況の硬直化がつづく中で歳出全般について更なる経費の節減を図りつつ事務事業の見直しを行い、經常経費の節減に努め、国庫補助金や有利な起債の導入など依存財源を的確に把握し、その確保に努めるなど一層の努力を期待する。

第1表 財源の状況

歳入を自主財源と依存財源に区分すれば、次のとおりである。

自主財源と依存財源の対比

(単位：千円、%)

	平成29年度		平成28年度		対前年伸率	
	収入済額	構成比	収入済額	構成比		
自主財源	町 税	180,825	4.2	168,498	4.7	7.3
	使用料及び手数料	72,695	1.7	71,777	2.0	1.3
	繰 入 金	565,758	13.2	114,052	3.2	396.1
	繰 越 金	58,714	1.4	64,963	1.8	▲ 9.6
	財 産 収 入	6,493	0.2	3,783	0.1	71.6
	分担金及び負担金	22,879	0.5	20,421	0.5	12.2
	寄 付 金	426,098	10.0	355,302	9.9	19.9
	諸 収 入	70,557	1.7	78,693	2.2	▲ 10.3
	計	1,404,019	32.9	877,489	24.4	60.0
依存財源	地方譲与税	39,718	0.9	39,889	1.1	▲ 0.4
	利子割交付金	285	0.0	170	0.0	67.6
	配当割交付金	401	0.0	314	0.0	27.7
	株式等譲渡所得割交付金	402	0.0	187	0.0	115.0
	地方消費税交付金	39,055	0.9	37,681	1.0	3.6
	自動車取得税交付金	9,912	0.2	6,781	0.2	46.2
	地方特例交付金	262	0.0	264	0.0	▲ 0.8
	地方交付税	1,568,188	36.7	1,593,560	44.4	▲ 1.6
	交通安全対策特別交付金	0	0.0	0	0.0	0.0
	国庫支出金	181,660	4.3	294,118	8.2	▲ 38.2
	道 支 出 金	279,225	6.5	304,829	8.5	▲ 8.4
	町 債	750,379	17.6	437,725	12.2	71.4
	計	2,869,487	67.1	2,715,518	75.6	5.7
歳 入 計	4,273,506	100.0	3,593,007	100.0	18.9	

第2表 支出の状況

歳出の状況を性質別に区分すれば、次のとおりである。

性質別決算状況

(単位：千円、%)

		平成29年度		平成28年度		対前年伸率
		収入済額	構成比	収入済額	構成比	
消費的経費	人件費	434,137	10.3	454,469	12.9	▲4.5
	物件費	491,455	11.6	477,243	13.5	3.0
	維持補修費	77,085	1.8	54,719	1.5	40.9
	扶助費	146,136	3.5	142,016	4.0	2.9
	補助費等	727,246	17.2	665,792	18.8	9.2
	計	1,876,059	44.4	1,794,239	50.7	4.6
投資的経費	普通建設事業費	1,271,949	30.1	816,111	23.1	55.9
	災害復旧事業費	4	0.0	5	0.0	▲20.0
	計	1,271,953	30.1	816,116	23.1	55.9
その他	公債費	444,449	12.1	427,590	12.1	3.9
	積立金	378,312	7.1	251,225	7.1	50.6
	投資及び出資金・貸付金	30,291	0.9	30,597	0.9	▲1.0
	繰出金	222,017	6.1	214,527	6.1	3.5
	計	1,075,069	26.2	923,939	26.2	16.4
歳出計		4,223,081	100.0	3,534,294	100.0	19.5

第3表 基金の状況

(単位：円)

名 称	平成28年度末残高	平成29年度中増減		平成29年度末残高
		積立金	取り崩し	
財政調整基金	943,307,880	223,370	324,000,000	619,531,250
減債基金	48,330,395	23,096,586	1,346	71,425,635
公共施設整備基金	32,000,000	200,050,083	0	232,050,083
ふるさと応援基金	365,650,231	143,887,583	216,957,032	292,580,782
地域福祉基金	59,938,418	16,231	885,199	59,069,450
農業振興基金	31,153,558	4,634,456	0	35,788,014
ひまわりバンク育成基金	18,886,652	20,888	11,340,771	7,566,769
農地保有合理化促進事業基金	14,582,316	6,375,527	693,375	20,264,468
商工ひまわり基金	22,137,365	4,451	8,769,360	13,372,456
青少年育成基金	994,148	98	192,520	801,726
生涯学習振興基金	16,653,063	3,348	2,079,372	14,577,039
土地開発基金	838,501	73	838,574	0
計	1,554,472,527	378,312,694	565,757,549	1,367,027,672

※参 考

(単位：円)

名 称	平成28年度末残高	平成29年度中増減		平成29年度末残高
		積立金	取り崩し	
国民健康保険会計財政調整基金	35,608,618	10,006,537	0	45,615,155
特別養護老人ホーム会計財政調整基金	64,705,084	29,081	45,000,000	19,734,165
介護保険会計介護給付費準備基金	15,301,821	5,917	11,000,000	4,307,738
北海道市町村備荒資金組合積立金	146,559,280	946,293	0	147,505,573
計	262,174,803	10,987,828	56,000,000	217,162,631

※特別会計繰出金額

(単位：円)

会 計	平成29年度決算額	平成28年度決算額	増 減
国民健康保険特別会計	19,840,903	29,186,268	▲ 9,345,365
町立診療所事業特別会計	22,800,000	23,000,000	▲ 200,000
後期高齢者医療特別会計	12,719,051	12,670,891	48,160
介護保険特別会計	45,229,743	39,251,524	5,978,219
特別養護老人ホーム事業特別会計	2,721,839	2,721,839	0
農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計	62,950,000	58,450,000	4,500,000
計	166,261,536	165,280,522	981,014

第4表 一部事務組合負担金調

(単位：千円)

組 合 名	平成29年度 負担金額	平成28年度 負担金額	増 減	算 定 基 礎
北空知衛生施設組合	17,456	7,724	9,732	運営費 平均割 10%、ごみ量割 90% 建設費 ごみ量割 100%
北空知衛生センター 組合	28,593	24,927	3,666	し尿 経常経費 過去1年間の収集実績割 建設経費 北竜町 9.50% 可燃ごみ 経常経費 過去1年間の収集実績割 建設経費 均等割 10%、ごみ量割 90%
北空知葬斎組合	1,193	1,093	100	人口割(直近の国調人口) 100%
深川地区消防組合	99,343	97,697	1,646	人口割 50%、世帯割 40%、面積割 5%、財政割 5%
空知教育センター組合	338	340	▲2	運営費 滝川市1/2、その他市町1/2(平均 30%、人口 35%、 教職員 35%) 研修費 平均 20%、人口 20%、教職員 30%、距離 30%
北空知圏学校給食組合	9,339	9,916	▲577	運営費 実給食人数割 100% 建設費 均等割 10%、計画給食人数割 90%
中・北空知廃棄物処理 広域連合	6,842	7,617	▲775	運営費 前々年度まで過去3か年の平均ごみ量割 建設費 均等割 10%、固定ごみ量割 90%
計	163,104	149,314	13,790	

平成29年度 各市町別一部事務組合負担額調

(単位：千円)

組 合 名	深川市	妹背牛町	秩父別町	沼田町	雨竜町	幌加内町	北竜町	計
北空知衛生施設組合		15,223	8,591	10,698			17,456	51,968
北空知衛生センター 組合	284,240	31,825	24,450	29,590		1,844	28,593	400,542
北空知葬斎組合	12,918	1,826	1,476				1,193	17,413
深川地区消防組合	454,485	97,157	80,038	141,166		141,504	99,343	1,013,693
空知教育センター組合	997	382	346	381	371		338	13,835
北空知圏学校給食組合	96,232	14,672	9,432	15,036			9,339	144,711
中・北空知廃棄物処理 広域連合	88,406	10,253	8,653	11,163	10,015		6,842	545,770
計	937,278	171,338	132,986	208,034	10,386	143,348	163,104	2,187,932

※ 空知教育センター組合、中・北空知廃棄物処理広域連合については、関係市町のための記載のため計は=とならない。

(2) 国民健康保険特別会計

○歳 入

- イ. 予算現額 408,992,000 円に対し、収入済額は 409,293,709 円で収入歩合は 100.07%、対予算では 301,709 円の増である。また、調定額 418,907,980 円に対しては収入歩合 97.70%で 9,112,671 円が収入未済となっており、501,600 円が不納欠損処分された。
- ロ. 国民健康保険料の収入歩合は、現年度分で 91.08%と前年度比 0.47%増となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 19,840,903 円で歳入総額に占める割合は 4.85%であり、対前年度比 9,345,365 円の減となっている

○歳 出

- イ. 予算現額 408,992,000 円に対し、支出済額は 405,199,938 円で執行率は 99.07%、3,792,062 円が不用額となっている。
- ロ. 支出済額のうち、保険給付費は前年比 25,216,315 円減の 209,473,893 円（構成比 51.69%）、共同事業拠出金は 97,358,391 円（同 24.03%）、後期高齢者支援金は 37,563,659 円（同 9.27%）が主なもので歳出総額の 84.99%を占めている。

○総 括

- イ. 歳入歳出において、4,093,771 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 平成 29 年度末の財政調整基金残高は 45,615,155 円で前年度に比べ 10,006,537 円の増となっている。

- ハ. 国民健康保険料の徴収率は現年度分で98.65%、滞納繰越分で20.60%である。平成29年度の収入未済額は9,112,671円で、前年度と比較すると1,346,119円減少している。不納欠損額は前年度と比較すると459,300円の増であった。今後も高齢化の進展に伴う保険給付費の増加が見込まれ、一層厳しい収支の状態が続くと予想されることから今後も国民健康保険事業の健全運営に努められたい。

(3) 町立診療所事業特別会計

○歳入

- イ. 予算現額 99,881,000 円に対し、収入済額は 97,312,591 円で収入歩合は 97.43%、対予算では 2,568,409 円の減である。また、調定額 97,312,591 円に対しては、100%の収入歩合となっている。
- ロ. 診療収入は、町立診療所が 58,045,250 円で前年度比 5,331,559 円減となっている。また、町立歯科診療所では 11,316,318 円で前年度比 1,281,936 円の減となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 22,800,000 円で、歳入総額に占める割合は 23.43%であり、対前年度比 200,000 円の減となっている。

○歳出

- イ. 予算現額 99,881,000 円に対し、支出済額は 96,790,358 円で執行率は 96.91%、3,090,642 円が不用額となっている。

○総括

- イ. 歳入歳出においては 522,233 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 診療収入は、町立診療所で対前年度比 8.41%減、町立歯科診療所では対前年度比 10.16%減であった。一般会計からの繰入金は対前年度比 200,000 円減の 22,800,000 円だが依然として高い値となっている。町立診療所及び町立歯科診療所の経営については、引き続き最善の努力を望む。

(4) 後期高齢者医療特別会計

○歳 入

- イ. 予算現額 33,350,000 円に対し、収入済額は 33,071,522 円で収入歩合は 99.16%、対予算では 278,478 円の減となっている。また、調定額 33,173,722 円に対しては、99.69%の収入歩合となっている。
- ロ. 一般会計からの繰入金は 12,719,051 円で、歳入総額に占める割合は 38.46%であり、対前年度比 48,160 円の増となっている。

○歳 出

- イ. 予算現額 33,350,000 円に対し、支出済額は 33,013,122 円で執行率は 98.99%、336,878 円が不用額となっている。

○総 括

- イ. 歳入歳出においては、58,400 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 保険料の収入歩合は調定額に対し 99.48%であり、収入未済額が 102,200 円発生した。前年度 100%の収入歩合であったので再度努力されたい。

(5) 介護保険特別会計

○歳 入

- イ. 予算現額 299,307,000 円に対し、収入済額は 287,033,309 円で収入歩合は 95.90%、対予算では 12,273,691 円の減である。
また、調定額 287,251,819 円に対しては、99.92%の収入歩合で 218,510 円が収入未済となっている。
- ロ. 介護保険料の徴収率は、現年度分が 99.79%で 37,302,600 円、滞納繰越分が 42.63%で 104,400 円となっている。
- ハ. 一般会計他からの繰入金は（基金を除く）45,229,743 円で、歳入総額に占める割合は 15.76%であり、対前年度比 5,978,219 円の増となっている。

○歳 出

- イ. 予算現額 299,307,000 円に対し、支出済額は 286,840,068 円で執行率は 95.83%、12,466,932 円が不用額となっている。
- ロ. 支出総額のうち、保険給付費が 251,964,289 円（構成比 87.84%）で前年度比 16,311,746 円増、地域支援事業費 26,238,354 円（同 9.15%）が主なもので全体の 96.99%を占めている。

○総 括

- イ. 歳入歳出において 193,241 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 平成 29 年度の介護給付費準備基金残高は取り崩しにより 4,307,738 円、前年度に比べ 10,994,083 円の減となっている。

- ハ. 介護保険料において、現年度分で78,000円、滞納繰越分で140,510円、計218,510円の未納があった。前年度に比べ26,400円の減となっている。介護保険事業の健全運営のため、滞納者に対しては負担の公平性の観点からも早期接触を図り、納付指導を行うなど引き続き保険料徴収には最善の努力を望む。

(6) 特別養護老人ホーム事業特別会計

○歳 入

- イ. 予算現額 426,500,000 円に対し、収入済額は 423,087,451 円で収入歩合は 99.20%、対予算では 3,412,549 円の減となっている。
また、調定額 423,135,603 円に対して、99.99%の収入歩合となっている。
- ロ. 介護収入は、372,575,851 円で前年度比 11,394,298 円の減となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 2,721,839 円で歳入総額にしめる割合は 0.65%であり、前年同額であった。また、財政調整基金からの繰入金は 45,000,000 円となっており、その基金残高は 19,734,165 円となっている。

○歳 出

- イ. 予算現額 426,500,000 円に対し、支出済額は 422,282,855 円で執行率は 99.01%、4,217,145 円が不用額となっている。

○総 括

- イ. 歳入歳出において 804,596 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 平成 29 年度の財政調整基金残高は 19,734,165 円、対前年度比 44,970,919 円の減となっている。
- ロ. 資金面ではここ数年、恒常的な財源不足により、財政調整基金の取り崩し及び一般会計からの繰入金により、経営が維持されている状況にある。事業内容の見直しと合わせ、諸経費の合理化を進めるなど更なる経営努力により、健全な事業運営になるよう期待する。

(7) 農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計

○歳入

- イ. 予算現額 117,278,000 円に対し、収入済額は 114,850,201 円で収入歩合は 97.23%、対予算では 2,427,799 円の減となっている。
また、調定額 114,951,641 円に対しての収入歩合は 99.91%で 94,240 円が収入未済となっており、このうち 7,200 円が不納欠損処分された。
- ロ. 下水道使用料（浄化槽を含む。）の現年度分の収納率は 99.87%となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 62,950,000 円で歳入総額に占める割合は 54.81%であり、対前年度比 4,500,000 円の増となっている。

○歳出

- イ. 予算現額 117,278,000 円に対し、支出済額は 114,590,633 円で執行率は 97.71%、2,687,367 円が不用額となっている。
- ロ. 公債費は 44,595,152 円で、歳出総額の 38.92%を占めている。

○総括

- イ. 歳入歳出において 259,568 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 平成 29 年度末の農業集落排水事業への加入戸数は 481 戸（1,000 人）で区域内対象戸数 503 戸（1,036 人）に対し、95.6%の加入率となっている。
また、個別排水処理事業への加入戸数は 182 戸（590 人）で対象戸数 333 戸（848 人）に対し、54.7%の加入率となっている。

- ハ. 農業集落排水事業及び個別排水処理事業使用料の滞納額は現年度分で42,620円、滞納分で51,620円の計94,240円となっている。滞納額は職員の努力により、減少傾向にあるものの、その滞納者は固定化傾向にあり次年度以降についても引き続き納入計画などの指導を含め滞納額の徴収に最善の努力を望む。

3. 基金運用状況審査結果

(1) 北竜町土地開発基金審査意見書

平成29年度北竜町土地開発基金の運用状況について審査し、次のとおり意見を付す。

平成30年8月24日

監査委員 板垣 義一

監査委員 小坂 一行

1. 審査意見

北竜町土地開発基金は平成29年度末をもって廃止。

平成29年度 北竜町土地開発基金運用調書

(単位：円)

区 分	平成28年度末 現 在 高	平成28年度中の増減		平成29年度末 現 在 高
		増	減	
現 金	838,501	73	838,574	0

(2) 北竜町奨学資金貸付基金審査意見書

平成29年度北竜町奨学資金貸付基金の運用状況について審査し、次のとおり意見を付す。

平成30年8月24日

監査委員 板垣 義一

監査委員 小坂 一行

1. 審査意見

審査の結果、運用に関する調書の計数は正確であり、その運用は設置の目的に従って原資金の範囲内において運用されている。

平成29年度 北竜町奨学資金貸付調書

(単位：円)

区 分	平成28年度末 現 在 高	平成29年度中の増減			平成29年度末 現 在 高
		増	減	免 除	
貸 付	37,380,000	8,040,000	8,660,000		36,760,000
運 用	2,442,248	12,567,027	8,040,000		6,969,275
合 計	39,822,248	20,607,027	16,700,000		43,729,275

※平成29年度中増減の内訳

(単位：円)

		増		減	
貸 付	新規 5人	1,980,000		貸付金返還	
	継続 15人	6,060,000		31件	8,660,000
	計	8,040,000		計	8,660,000
運 用	貸付金返還	8,660,000		新規貸付	1,980,000
	原 資	0			
	預金利息	27			
	寄 附 金	7,000		継続貸付	6,060,000
	基金積立金	3,900,000			
	計	12,567,027		計	8,040,000
合 計		20,607,027			16,700,000